

**製品名: アタキシン-2L ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab07253**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	113kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ATXN2L
別名	ATXN2L; A2D; A2LG; A2LP; A2RP; Ataxin-2-like protein; Ataxin-2 domain protein; Ataxin-2-related protein
遺伝子 ID	11273.0
SwissProt ID	Q8WWM7
免疫原	抗血清はヒト ATXN2L 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 571-620

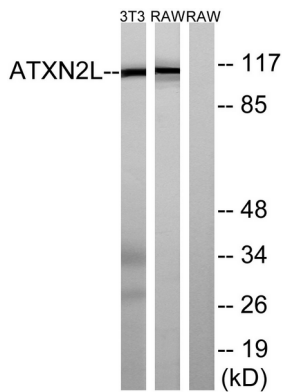
**背景**

この遺伝子は、機能不明のアタキシン 2 型関連タンパク質をコードしています。このタンパク質は脊髄小脳失調症（SCA）ファミ

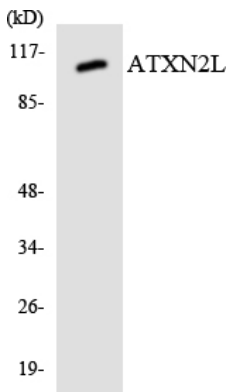
リーに属し、複雑な神経変性疾患群と関連しています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の選択的スプライシング転写産物が見つっています。 [RefSeq 提供、2008年7月],PTM:Arg-361 はジメチル化されており、おそらく非対称ジメチルアルギニンとなっている。 ,PTM:トロンボポエチンは、MPL C 末端ドメインに依存してチロシン残基のリン酸化を誘導する。 ,配列注意:エクソン重複。 ,類似性:アタキシン-2ファミリーに属する。 ,サブユニット:MPL/TPOR および EPOR と相互作用し、リガンド刺激後に解離する。 ,組織特異性:胸腺、リンパ節、脾臓、胎児腎臓、成体精巣で高発現する。 造血細胞では MPL および EPOR と恒常的に会合する。 ,

## 研究分野

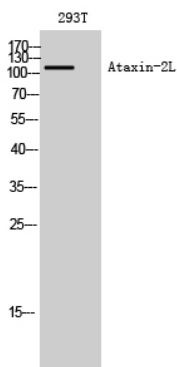
## 画像データ



ATXN2L 抗体を用いた NIH/3T3 細胞および RAW264.7 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



ATXN2L 抗体を使用した 293 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



1: 2000 に希釈した Ataxin-2L ポリクローナル抗体を用いた 293T 細胞のウェスタンブロット解析

